

海外安全対策情報（2015年1月～3月）

1 一般犯罪・凶悪犯罪

（1）盗難・強盗事件

○カンパラ県(Kampala)：中部

1月18日午前1時40分頃、早朝のフライトに搭乗するため邦人2名が宿泊先(Lake Victoria Serena Hotel)から空港へ向かっていたところ、武装強盗に襲撃されました。邦人2名は抵抗することなく強盗の要求に応じ金品を差し出したため、危害を加えられることはありませんでした。ウガンダでは、夜間の移動時に武装強盗に襲撃される事件が頻繁に発生していますので、夜間移動される際は十分注意してください。

○マサカ県(Masaka)：中部

1月5日報道によると、地元住民は警察官による治安維持能力が低下していることで、マサカ県の犯罪件数が増加していると訴えました。特に、幹線道路での強盗事件が多発していることに不安を抱いており、警察官の配置人員が不足していると指摘しています。

○ブコマンシンビ県(Bukomansimbi)：中部

1月31日、男が女性宅に押し入り金品を要求したところ、女性は抵抗することなく50万シリング(約2万円)を差し出しました。しかし、金額に不満だった犯人は女性を鉈で切りつけ逃走しました。

○グル県(Gulu)：北部

ア 2月9日夜、仕事を終えた女性2人が徒歩で帰宅していたところ、鉄パイプを所持した男性に襲撃され病院に搬送されました。グル県では鉄パイプによる襲撃事件が増加しており、特にペセ(Pece)及びラロー(Laroo)地区で多くの被害が発生しています。

イ 2月27日報道によると、鉄パイプ襲撃事件の増加を重く見た警察は、同17日夜に一斉捜査を行い72名の容疑者を拘束しました。その後の取り調べで31名は釈放されましたが、残る41名については事件との関連を疑われています。

（2）殺人事件

○マサカ県(Masaka)：中部

ア 1月10日、自宅から30歳女性の遺体が発見されました。近所の住民によると、女性は同7日から行方が分からなくなっていたため不審に思い警察に通報したところ、遺体で発見されたとのこと。なお、女性の夫が行方不明になっていることから、警察は夫が何かしら事情を知っているとして捜

査にあたっています。

イ 3月13日、男が女性宅に押し入り金品を要求したところ、女性は2千シリング(約80円)しか所持していなかったため、犯人は女性を殺害し逃走しました。

○ヌオヤ県(Nwoya) : 北部

1月22日報道によると、家庭問題から32歳女性が夫に刺されアナカ病院(Anaka)へ搬送されました。警察は殺人未遂事件として夫の行方を追っています。

○ナムトゥンバ県(Namutumba) : 東部

2月13日報道によると、ナムトゥンバ小学校(Namutumba Junior Primary School)で出された朝食を食べた児童約100名が体調不良を訴え病院に搬送されました。提供された食事の中から毒物が検出されたことを受け、警察は殺人未遂事件として捜査を始めました。なお、この事件による死者は発生しておりません。

(2) 強姦事件

邦人および外国籍の方が被害に遭ったとの情報には接していませんが、ウガンダにおいて強姦事件は深刻な問題となっています。また、被害者となる女性の大半が未成年者であり、近親相姦も頻繁に発生しています。

○カンパラ県(Kampala) : 中部

2月18日、マケレレ大学の男子学生が強姦の容疑で逮捕されました。同学生は他の学生からマリファナ入りのクッキーを購入し、女子学生にクッキーを食べさせ昏睡状態となったところ犯行に及んでいたとのこと。被害女性の一人が警察に届出たことで事件が発覚し捜査を始めたところ、学生寮から同クッキー120枚が見つかりました。また、警察は他にも被害者がいると見ており余罪を追求しています。

○カルング県(Kalungu) : 中部

1月6日報道によると、50歳男性が12歳女兒を強姦し警察に逮捕されました。

○キバレ県(Kibale) : 西部

2月4日夜、24歳男性が13歳女兒を強姦し警察に逮捕されました。

○カバレ県(Kabale) : 西部

2月17日、男が93歳女性宅に押し入り金品を要求したところ、女性は金品を所していなかったため、犯人は女性を強姦し逃走しました。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。しかし、ソマリアの武装勢力アルシャ・バーブは、ウガンダ国軍がAU(アフリカ連合)平和維持活動部隊としてソマリア

で活動していることを不服としており、ウガンダに対する報復声明を再三発出しているため、引き続き注意する必要があります。

○3月27日 ウガンダ：テロの脅威に関する注意喚起

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2015C082>

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、近年ウガンダにおいて身代金を目的とした誘拐事件が発生しており、邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中は警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

○ンバララ県 (Mbarara) : 西部

1月21日、犯人は2歳児を誘拐し、家族に身代金500万シリング(約20万円)を要求しました。犯人は携帯電話の番号を残していたことから、警察は通話記録等を分析し捜査を進めていたところ、2日後にカンパラ県 (Kampala) で犯人を逮捕するとともに2歳児を無事保護しました。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情が良好なこともあり、日本企業であることを理由に標的とされる可能性は低いです。

以上